



2009年12月25日
ケーペック・ジャパン
会長 氏家正道

日本郵便のEMSと民間エクスプレス事業との公平な競争について

ケーペック・ジャパン¹⁾は国際エクスプレス事業を営む4つの民間企業が組織する業界団体です。

さて、新政権の下で郵政改革の向かうべき方向が徐々に明確化されつつありますが、郵便事業に関してもその公共性・公益性という側面を重視することが今後の課題であると理解いたします。ケーペック・ジャパンは日本郵便のサービスレベルを向上させようという政策には何ら反対するものではありません。一方で、いわゆる「ユニバーサルサービス」として日本郵便により提供されるサービスの範囲は、その事業としての継続の可能性の枠内で、かつ民間事業者によって提供される同様のサービスとの公平な競争が保証される、という条件の中で決定されるべきものであると考えます。すなわち、郵便のサービス向上が公益であると同様に、民間事業者との公平な競争もまた公益であります。

しかるに、日本郵便の提供する国際エクスプレスサービスであるEMSは近年そのサービスの範囲とレベルを向上し、企業向けのマーケティングを強化することによって民間の国際エクスプレスサービスと競合する状況になっています。郵政の公社化以来、国際物流への進出はその最重点戦略方針の一つであります。JPサンキュウグローバルロジスティクスの事業が明確に非ユニバーサルサービスとされている一方で、EMSはユニバーサルサービスの一部と定義されたままであり、国内のエクスプレスサービスであるゆうパック事業が非ユニバーサルであることとも相違しています。

万国郵便条約においてはEMSは基礎業務には含まれておらず、その提供は各国郵政庁の任意という位置付けになっています。これをユニバーサルサービスに含めているのは日本政府の独自の判断によるものであり、通常国際小包（船便、航空便、SAL便など）が存在するにもかかわらず、それらの上位に位置する高度なサービスであるEMSまでをユニバーサルサービスとして維持する必要があるのか、という疑問を持ちます。

1) ケーペックはConference of Asia-Pacific Express Carriersの略で、メンバーはFederal Express, UPS, TNT, DHLの4社

ケーペック・ジャパンは公平な条件での競争は歓迎するものですが、EMS はユニバーサルサービスであるから、という理由でいくつかの点で制度また規則上優遇されており、民間の国際エクスプレス事業者に比べて大きなコストメリットを享受していることは看過できません。特に通関制度の違いは大きなものであり、民間に適用される申告納税方式が EMS にも適用されることを要望します。現状では 20 万円を超える貨物のみが申告納税方式を適用されていますが大部分の貨物は従来どおりの賦課課税方式であり、税関署が通関業務を代行しているのが実態であります。その他、EMS には検疫を空港外の自社の施設で行えること等のメリットがあります。

こうした不平等な条件の下での競争状況を改めるべく、ケーペック・ジャパンは今回の郵政改革推進にあたって、EMS に関して以下の点を要望いたします：

EMS は民間と同じ制度のもとで運用されるべきであること。

EMS は日本郵政全体の規模からすれば小さな規模のビジネスかもしれませんが、長年の懸案である EMS と民間事業者との競合の問題が複雑かつ大規模な郵政改革の議論の中で忘れ去られること無く、むしろ郵政のあるべき姿の議論を通じて解決されることを希望いたします。また、この問題は外国籍企業であるケーペック・ジャパン各社だけの問題ではなく、日本籍の国際物流企業にとっても同様な課題であり、この問題の解決は日本の経済にとって有益な結果をもたらすものと信じております。

なにとぞご賢察のほどをお願い申し上げます。

添付資料

競合する全ての国際エクスプレスサービスの公平な競争条件の実現へ向けて

CAPEC ジャパン
東京, 2009年6月16日作成
2009年12月24日修正

CAPECはEMSとの競争を歓迎する

- 但し、競争は公平な条件の下で行われるべきである

目次

1. EMSはユニバーサルサービスか？ – USA と EUの例から
2. EMSは市場において民間企業と競合しているか？
3. 競争条件の違い – 日本においてEMSが享受する制度上のメリット
4. EMSの価格設定とユニバーサルサービスに属する他の郵便事業との共通コスト
5. CAPEC ジャパンの提案
6. 添付資料(EMSと通常の国際郵便小包との価格比較)

EMSはユニバーサルサービスか？

- 「ユニバーサルサービス提供の義務」という概念は比較的新しいものである。欧州では各国の郵便事業民営化の議論の中から生まれてきた。現在郵便事業に関するEC指令は第3次のものであるが、その中にはEMSはユニバーサルサービスではないことが明確にされている。またアメリカ合衆国ではこの概念は郵便改革に関連して、基本的な郵便サービスを確保しつつビジネスの自由度を高めるといった議論の中から生まれてきた。アメリカ合衆国ではユニバーサルサービスそのものの定義が明確ではないが、EMSは競争サービスに分類されており民間と平等な競争条件とすることが要求されている。
- 万国郵便条約はEMSを各国の郵政庁が提供しなければならないサービスには含めていない。EMSを提供するかどうかは各国の裁量に任されている。
- 郵政民営化推進委員会はCAPECジャパンに対して「EMSはユニバーサルサービスなので制度上のメリットがあることは当然である」という見解を示したが、これは郵政民営化法の精神に反するものである。
- CAPECは、EMSは競争サービスであると信じており、「民間の提供する同様のサービスを圧迫してはならない」という郵政民営化の精神に従って行動すべきであると考えている。



EMSをユニバーサルサービスとしなければならない根拠は国際的には存在しない。さらに、国内の小包サービスである「ゆうパック」は既にユニバーサルサービスからはずされている。

EUにおける郵便政策の目標

- ECのコントロール下で秩序を維持しつつ郵便市場を開放することにより、郵便事業の単一市場を確立し、高品質でユニバーサルな郵便事業を確保する。(指令 1997/67/EC、指令2002/39/ECによる修正、指令2008/06/ECによる修正)

2008年の第3次郵政指令(2008/06/EC)により、EU内の独占事業は終了することが決定した。



- 大部分の加盟国において完全な市場開放を2010年12月までに実現する。(11の加盟国については更に2年の猶予が認められた)
- 「...エクスプレスサービスならびにクーリエサービスは郵便のユニバーサルサービスとは基本的に異なる特徴を持つ、特別なサービスである」(欧州委員会2007)

Postal Accountability and Enhancement Act

- 2006年12月に発効したこの法律により、これまでの古い郵便サービスの高コストなシステムを近代化し、監督を強める他、郵便事業が現代的企業として市場で十分に活動し競争できるようなフレームワークができ上がった。

- 1) 現代的な料金規制－独占サービスと競争サービスとの明確な区別
- 2) 市場の秩序と規制を調和
- 3) 郵便独占事業と非郵便事業の限定
- 4) 国際郵便事業に関する規制の改革－関税法を国際郵便と民間貨物に対して同様に適用する
- 5) 郵政規制委員会 (PRC) の権限と機能の強化
- 6) 独占サービスと競争サービスの間でのコストの透明性を確保する為の様々な努力

EMSは「競争サービス」に分類され、様々な自由度を得ると同時に、民間と平等な競争条件を求められている。

類似のサービスがはるかに安価に提供されている

- 仕向国や重量により、民間事業者と同様のサービスが20–60%の価格で提供されている(定価の比較)。
 - EMSの公式なボリュームディスカウントは最大23%となっている;市場での値引きの実態については不明
- EMSのサービスレベル
 - 120を超える仕向国
 - トラッキングサービスは50カ国向けに提供している;加えて55カ国とテスト中
 - 中国(北京、上海)、香港、台湾、シンガポール、韓国向けに、翌日配達保障の「タイム・サータン」サービスを提供している
 - 2万円までの保険は無料(国際郵便小包の場合は有料)
 - 国際郵便マイページサービス(簡単なデータ入力、EMSラベルの出力などができるウェブサイト)を提供している

東京発上海向け小包一個の価格

[JPY]	EMS	CAPEC companies
1kg	1,800	8,000 - 8,900
5kg	6,400	16,000 - 17,000
15kg	14,600	22,000 - 27,000

- 定価の比較
- フューエルサーチャージを除く

CAPECは、EMSの顧客層が民間事業者のそれとかなりの程度で重複していることを確信している

- 商流を含むB2Bの貨物が増えている
 - 東京税関外郵出張所のコメント:「多数個口の貨物が非常に増えてきている。商流でEMSを使うケースが増えているためと思われる。」
 - CAPEC各社の営業担当者がEMSとの競合に遭遇するケースが増えている(CAPEC各社の顧客は99%がビジネス顧客)

顧客層からみた競合の実情を判断する為にはEMSの顧客・貨物のプロフィールが必要になる。
郵便事業会社はビジネス顧客の割合、シップメントの数、
一シップメント当りの平均重量や平均カートン数などのデータを公開すべきである。

郵便事業会社はB2B市場でのEMSの拡大を戦略としている

- ビジネス顧客をターゲットとしたプロモーションを行ってきている: 日本経済新聞での広告、ビジネス顧客向けのウェブページ、訪問サービスや荷物の引き取りサービス、ディスプレイなど法人向けサービスの宣伝、etc.
- JPサンキュウ グローバル ロジスティクス株式会社のウェブサイトを通じてEMSを案内している。

また、B2C市場もEMSの大きなターゲットとなっている

- ショッピングモールからの外国向け貨物の引受け
 - JapaNavi(郵便事業会社が自身で運営する中国向けのウェブモール)
 - 楽天との国際配送契約

直接競合しているにも拘らず、EMSは民間事業者に対して競争上優位な条件を持っている

● 通関の仕組み

- EMSの場合は税関職員が個々の貨物をチェックし関税額を決定している(賦課課税方式)。この費用は全て日本の納税者の負担となっている。民間事業者は申告納税方式であり、多数の通関担当者を擁している。
- 20万円を超える貨物の通関は2009年2月16日から民間と同じ申告納税方式になった。しかしながらEMSの中で20万円を越えるものの割合は極めて小さいものと推測される。
- セキュリティの問題:EMSをチェックする税関職員には全ての貨物をチェックして社会悪物品の輸出入を防ぐことが期待されているが、貨物のデータは不十分でありリスクは高い。また万一社会悪物品の輸出入があった場合も、貨物の記録が情報システム上に残らないので追跡調査は困難である。
- WCOの改定版京都議定書附属書J2によれば、EMSはいわゆる郵便通関の対象とされていない。(但し日本はこの付属書は批准していない)

● 検疫貨物の扱い

- EMSで輸入された検疫貨物は、他のEMS貨物と共に空港から直接国際郵便支店(東京では江東区新砂)へ運ばれ、そこで管轄官庁による検査を受ける。即ち検査前に空港を離れるわけである。民間事業者の場合は空港で検疫貨物だけコンテナから取り出すことが必要で、その為に荷物の流れが滞ることになる。EMSは民間事業者に比べて時間とコストの点で有利になっている。

● 駐車違反からの除外

- 2006年の改正道交法で駐車禁止の取締りが厳しくなった後、警察庁はゆうパックとEMSを運搬する車両は駐車禁止から除外されない、という見解を出している。実務上は所轄の警察に任されており、CAPEC各社の現場での観察によれば、取り締まられているケースも散見されるものの、EMSを積んでいると見られる集配車両が駐車していても切符を切られないケースが多いのが現実である。また、外部の目には郵便の車両がEMSを積んでいるかどうかは判別が困難である。

EMSのコストの内部補助と不透明なコスト構造



CAPECは、「EMSはユニバーサルサービスである」という理由で他の郵便事業の収益による内部補助を受けること、それにより低い価格設定が可能になることについては強く反対する。

現状ではEMSのコストに関する情報は公開されていないので公正な判断は不可能であるが、EMSのコストがその売上によって十分にカバーされてはいないのではないかと推測される：

- 民間事業者との価格差は、通関方式の違いなどの競争条件の違いだけでは説明し難い。
- EMSの定価は仕向地や重量によっては通常の国際航空小包よりも更に低い価格に抑えられている(添付資料を参照のこと)。EMSの価格がコストをカバーすることよりも、戦略的な観点を優先して決められていることを示唆している。
- EMSは郵便事業会社の情報システム、営業組織、車両を含む運送システム、仕分け拠点といったインフラや間接部門をその他の郵便サービスと共有しており、それらのコストはEMS向けに区分されていない。
- この状況は非ユニバーサルサービスであるJPサンキュウグローバルロジスティクスにも共通しているものと思われる。

1. EMSは(世界の殆どの国と同様に)日本においても競合サービスと定義されるべきであり、ユニバーサルサービスとしての扱いをやめるべきである。こうした決定を下す為の基礎を作る目的で、CAPECは以下のステップを提案する。

- 中立の委員会を設置し、郵便事業会社並びにCAPECメンバーを含む民間事業者が提供するデータに基き、市場における競合の状況を判断する。これらのデータの機密保持についてはこの中立委員会が保証する。
- 競合の状況調査には次の項目を含む:
 - EMSと民間のサービスの間で顧客プロファイルがどの程度オーバーラップしているか
 - 両者の提供するサービスレベルにどのような違いがあるか
 - 顧客のパーセプションはどうか

前項を基に、CAPECは更にLevel Playing Fieldに関する以下の項目を提案する：

2. 全てのEMSについて民間と同様の通関方式を適用すること。少なくとも輸出に関しては顧客からのデータが存在するので、短期的に可能なはずである。
3. EMSを運搬する車両に対して駐車禁止を民間の車両と同様に適用すること。代案として、民間事業者の車両に対して15分程度の短時間駐車を容認することでも良い。
4. EMSに対して民間事業者に対すると同様の検疫プロセスを適用すること。代案として、民間事業者の検疫貨物についても空港外の所定の保税倉庫での検査を可能にすることでも良い。

EMSのコストに関してCAPECは以下の点を提案する：


5. EMSの原価計算を独立させ、中立な監査組織に対して個々の費目に係わる情報を公開することにより、EMSとユニバーサルサービスとの間の適正な費用のやりとりを保障する。

このポイントはJPサンキュウ グローバル ロジスティクスにも適用されるべきである。

参考資料

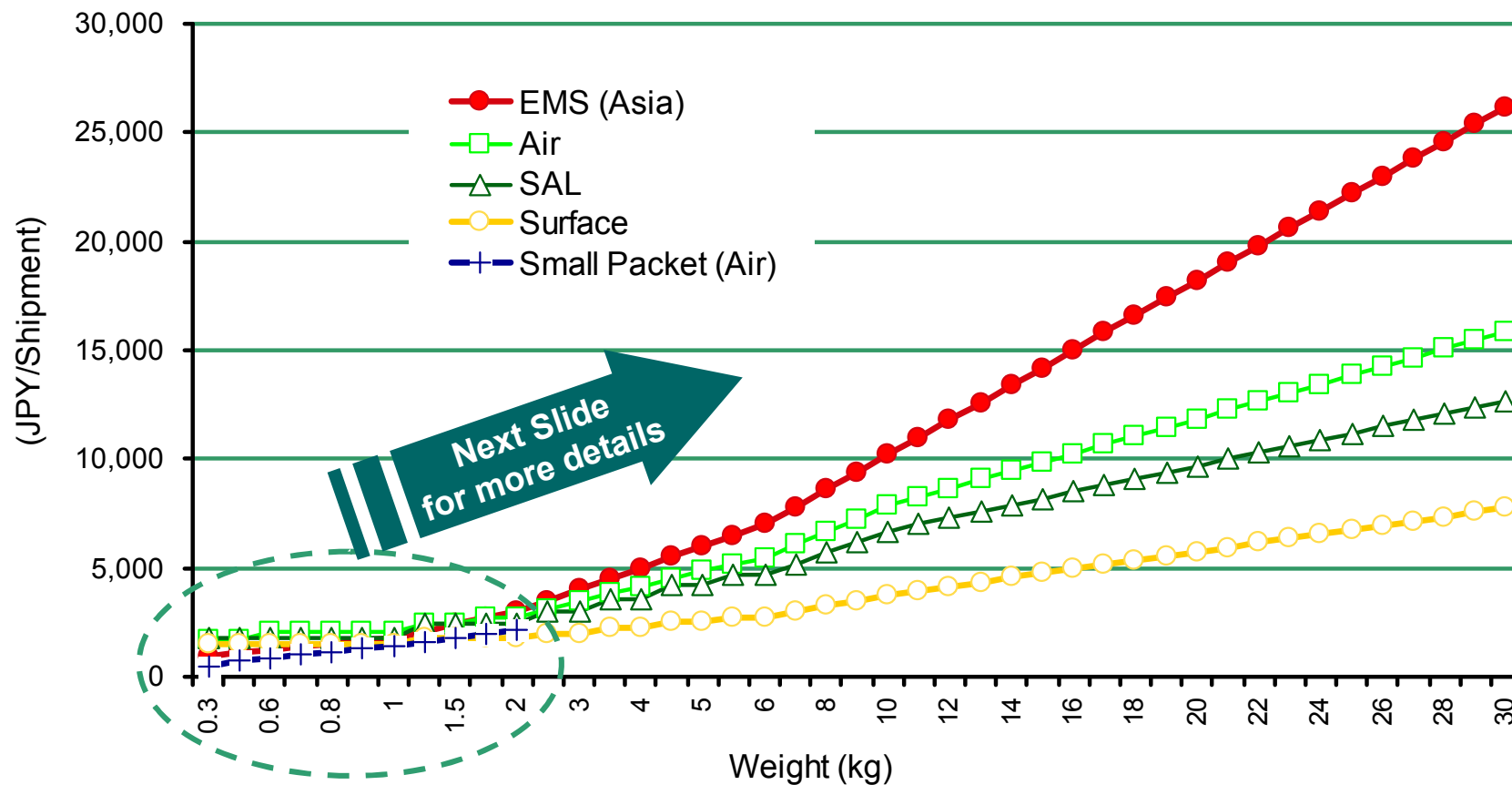
EMSと通常の国際郵便小包との価格比較

日本郵便の国際小包とEMSのサービス一覧

Category	Product Name	Min. Weight	Max Weight	Countries	Zone	Countries
EMS Express Mail International		0.3 kg	30 kg*	<ul style="list-style-type: none"> ●Top priority. Transit Time: 2-4 days ●Trace & Track Service available for 95 countries (of which 40 are on trial basis). ●Time Certain Service: delivered by the designated time on the following day with additional charge of ¥400-600. Available for Hong Kong, Singapore, Korea, Malaysia, Taiwan, and China (Beijing/Shanghai). Senders are notified of delivery completion via fax. ●Discount up to 23% depending on volumes (per submission >10: 10%; per month >50: 10%) ●Insurance Program: no charge up to ¥20,000. Article value over ¥20,000, premium charge of ¥50 will be added per ¥20,000. Max. coverage is ¥2M ●Free original EMS envelopes and label printing internet service. 	Zone 1	Asia, Guam, Saipan
					Zone 2-1	Oceania, North/Central America, Middle East
					Zone 2-2	Europe
					Zone 3	Africa, South America
International Parcel Post 国際小包	Airmail (航空便)	0.5 kg	30 kg	Air transport. Transit Time: 3-6 days	Zone 1	East Asia, Guam
	SAL Economy Air (エコノミーエア)	1 kg		●Air transport between two countries and surface mail in both Japan and destination country. Transit Time: 6-13 days	Zone 2	South East Asia & South West Asia
	Surface Mail (船便)	1 kg		Surface transport. Transit Time: 1-2 months	Zone 3	Oceania, North & Central America, Middle East, Europe
	Available Service	<ul style="list-style-type: none"> ●Track & Trace Service ●Volume Discount ●Optional Services with additional charges: Insurance, Express Mail (速達, special handling at destination), Delivery Notification (受取人通知) 		Zone 4	Africa, South America	
Small Packet (Petit Packet) 小形包装物		50 g	2 kg	Cheaper rate than International Parcel up to 2kg. Choose transportation modes from Air/ SAL/ Surface.	Zone 1 = EMS Zone 1 Zone 2 = EMS Zone 2-1/ 2-2 Zone 3 = EMS Zone 3	

EMSと国際郵便小包の価格比較: 中国・台湾・フィリピン

Zoning of countries differ between EMS and International Parcel (国際小包). For the category nearest from Japan, Zone 1 (EMS: Asia, IP: East Asia), EMS offers higher price above 2kg than Air, SAL, Surface and Small Packet (Air).



Source: Japan Post website

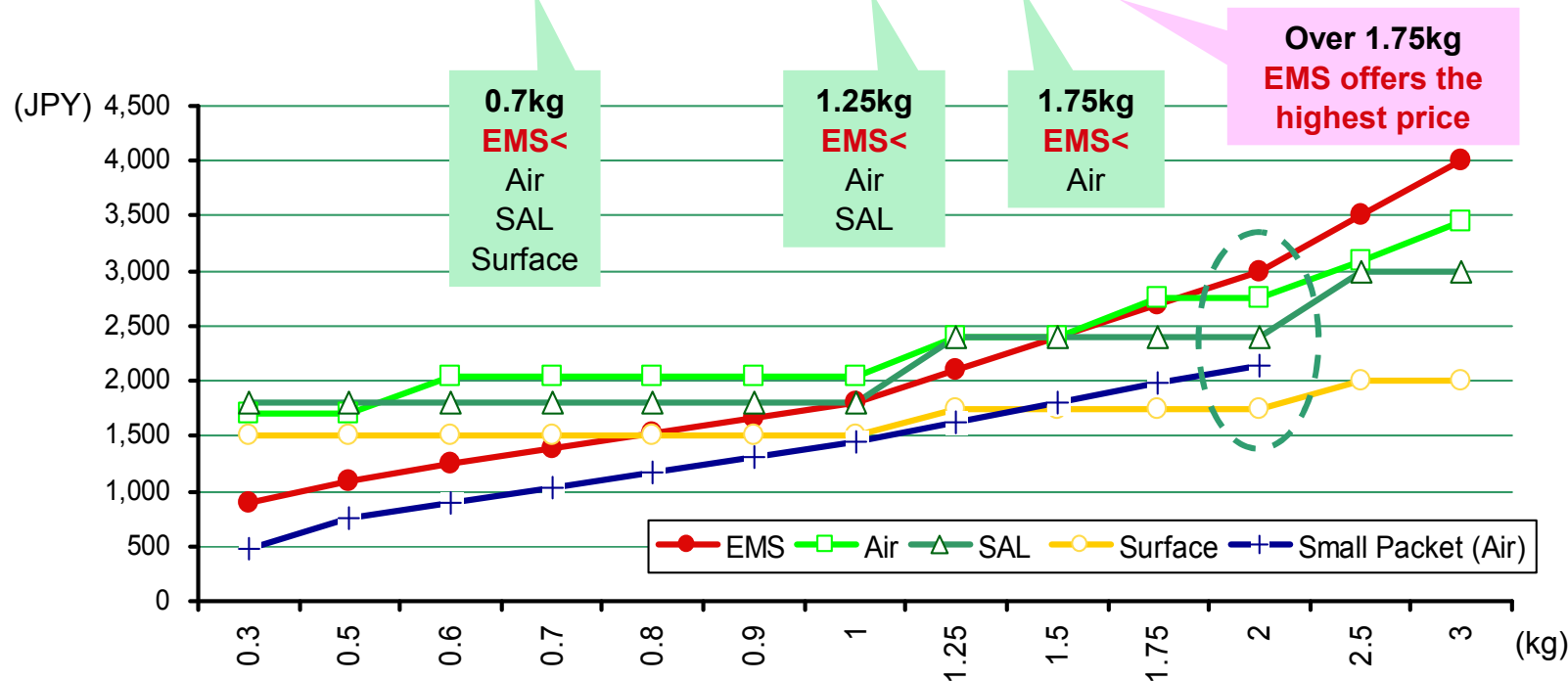
EMSと国際郵便小包の価格比較: 中国・台湾・フィリピン 2kg以下

EMS price is even lower than Surface transport (船便) up to 0.7kg. Only at the weight band of 2kg and above, EMS becomes higher than all other modes of transportations.

Price Index (¥)

Price on par with EMS Price higher than EMS

	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.25	1.5	1.75	2	2.5	3
EMS	900	1,100	1,240	1,380	1,520	1,660	1,800	2,100	2,400	2,700	3,000	3,500	4,000
Air	1,700	1,700	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,400	2,400	2,750	2,750	3,100	3,450
SAL	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	2,400	2,400	2,400	2,400	3,000	3,000
Surface	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,750	1,750	1,750	1,750	2,000	2,000
Small Packet (Air)	470	750	890	1,030	1,170	1,310	1,450	1,625	1,800	1,975	2,150		



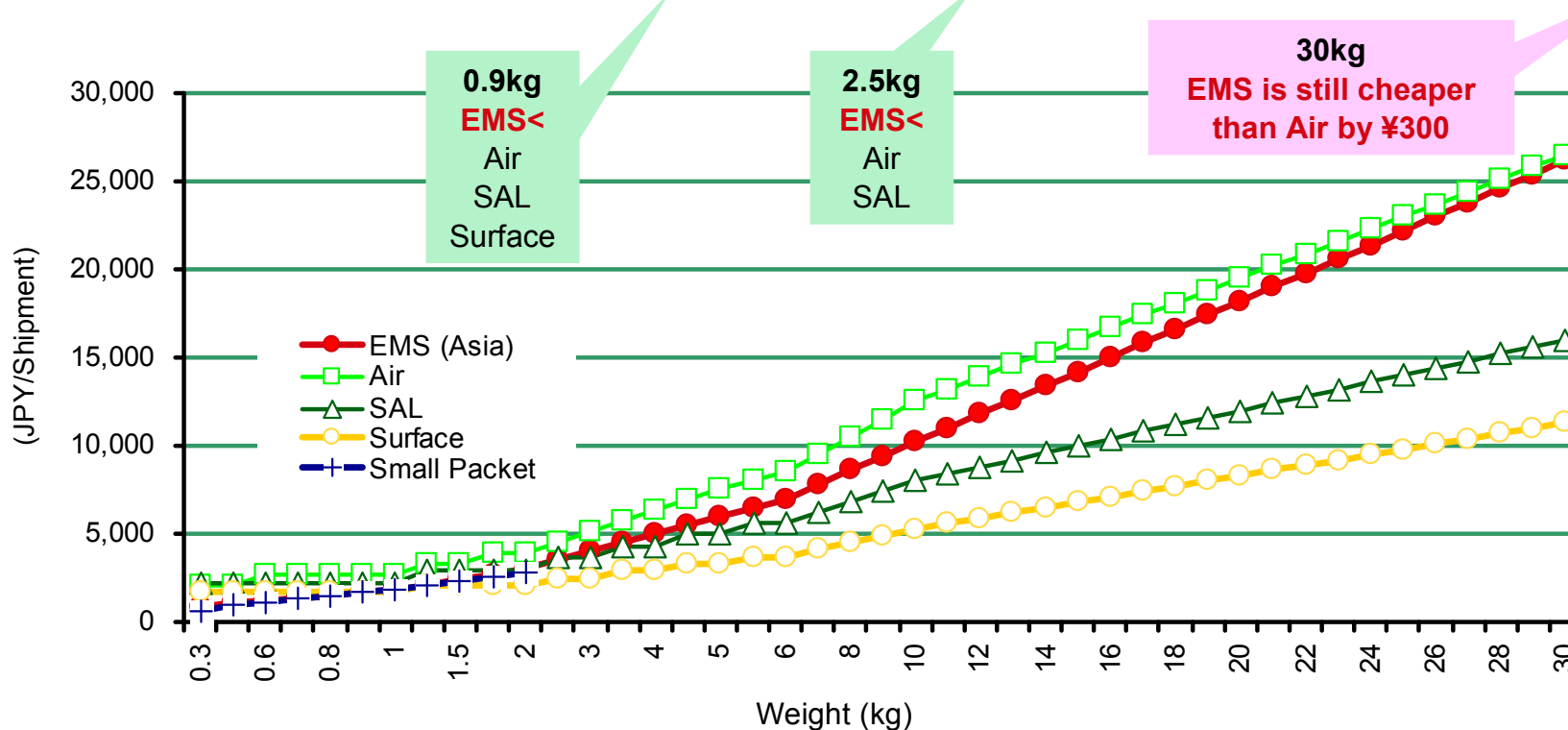
EMSと国際郵便小包の価格比較: シンガポール・インド・ベトナム

South East Asia and South West Asia are Zone 1 for EMS but Zone 2, one category up for IP. EMS is cheaper than Airmail in all weight band.

Price Index (¥)

 Price higher than EMS

Weight (kg)	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.5	2	2.5	3	5	10	15	20	25	30
EMS	900	1,100	1,240	1,380	1,520	1,660	1,800	2,400	3,000	3,500	4,000	6,000	10,200	14,200	18,200	22,200	26,200
Air	2,100	2,100	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	3,300	3,900	4,500	5,100	7,500	12,500	16,000	19,500	23,000	26,500
SAL	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,900	2,900	3,600	3,600	5,000	8,000	10,000	12,000	14,000	16,000
Surface	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	2,100	2,100	2,500	2,500	3,300	5,300	6,800	8,300	9,800	11,300
Small Packet (Air)	470	750	890	1,030	1,170	1,310	1,450	1,800	2,150								



Source: Japan Post website

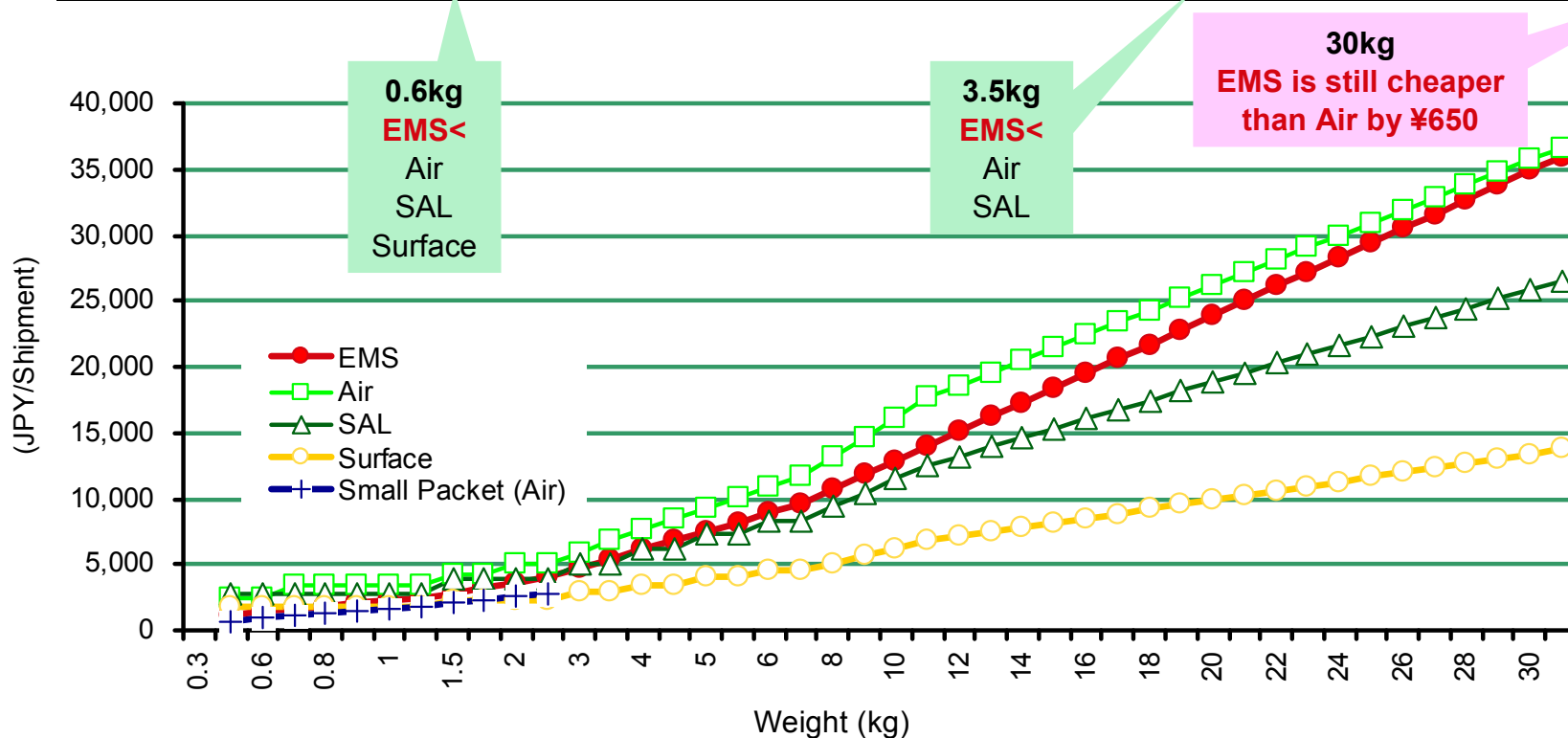
EMSと国際郵便小包の価格比較: USA・中東・オセアニア

For USA, Middle East and Oceania, EMS is again cheaper than Airmail in all weight band up to 30kg.

Price Index (¥)

 Price higher than EMS

Weight (kg)	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4	5	10	20	30
EMS	1,200	1,500	1,680	1,860	2,040	2,220	2,400	3,200	4,000	4,700	5,400	6,100	6,800	8,200	14,000	25,000	36,000
Air	2,500	2,500	3,350	3,350	3,350	3,350	3,350	4,200	5,050	5,900	6,750	7,600	8,450	10,150	17,650	27,150	36,650
SAL	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	3,850	3,850	5,000	5,000	6,150	6,150	7,300	12,550	19,550	26,550
Surface	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	2,350	2,350	2,950	2,950	3,450	3,450	4,000	6,750	10,250	13,750
Small Packet (Air)	600	960	1140	1,320	1,500	1,680	1,860	2,310	2,760								



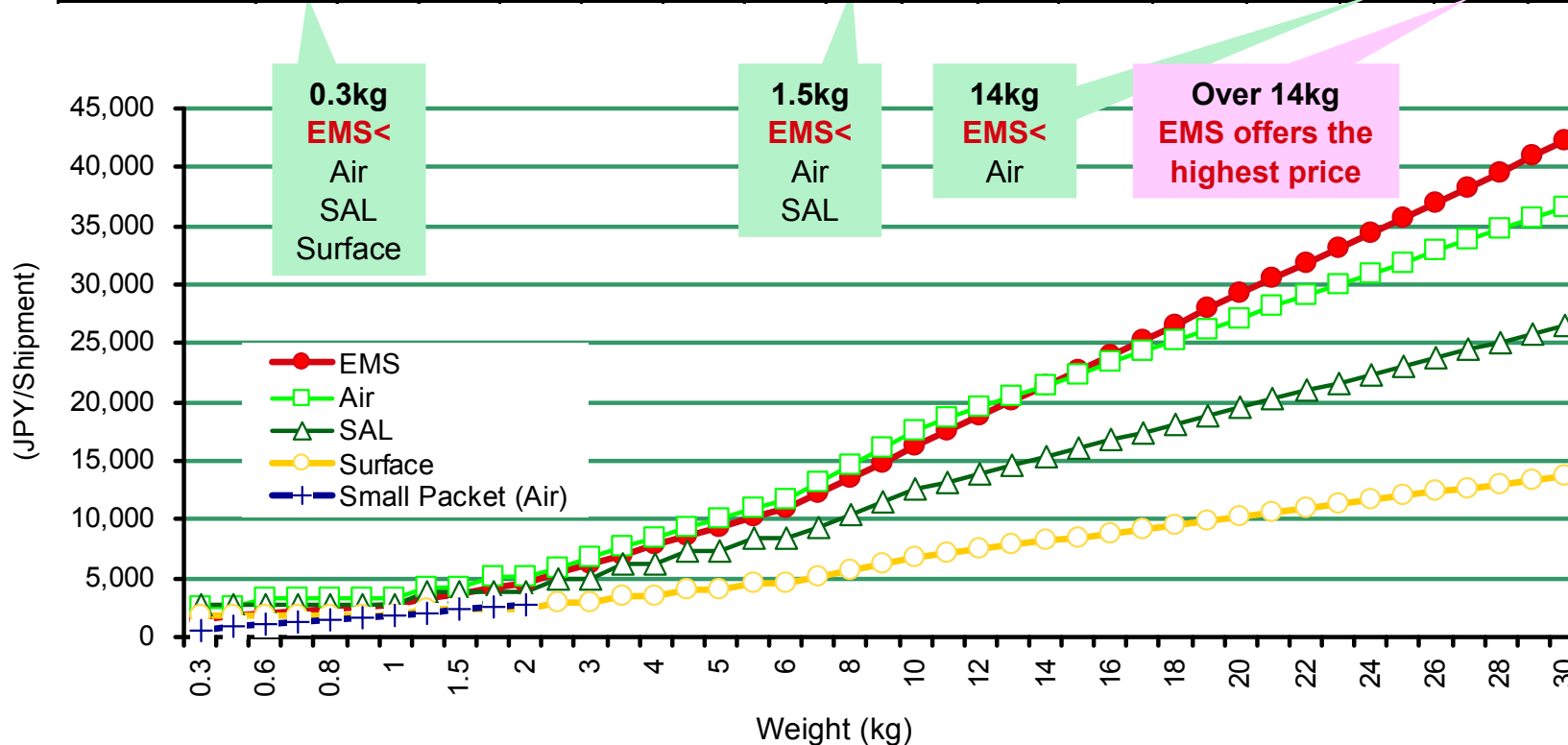
EMSと国際郵便小包の価格比較: ヨーロッパ

Unlike EMS, Europe and USA are in the same zone for IP. EMS price advantage finally disappears for parcels weighing over 14kg for Europe.

Price Index (¥)

Price on par with EMS (Yellow) Price higher than EMS (Red)

Weight (kg)	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.5	1.75	2	3	5	10	14	15	20	30
EMS	1,500	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,700	4,150	4,600	6,200	9,400	16,200	21,400	22,700	29,200	42,200
Air	2,500	2,500	3,350	3,350	3,350	3,350	3,350	4,200	5,050	5,050	6,750	10,150	17,650	21,450	22,400	27,150	36,650
SAL	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	3,850	3,850	3,850	5,000	7,300	12,550	15,350	16,050	19,550	26,550
Surface	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	2,350	2,350	2,350	2,950	4,000	6,750	8,150	8,500	10,250	13,750
Small Packet (Air)	600	960	1140	1,320	1,500	1,680	1,860	2,310	2,535	2,760							



Source: Japan Post website

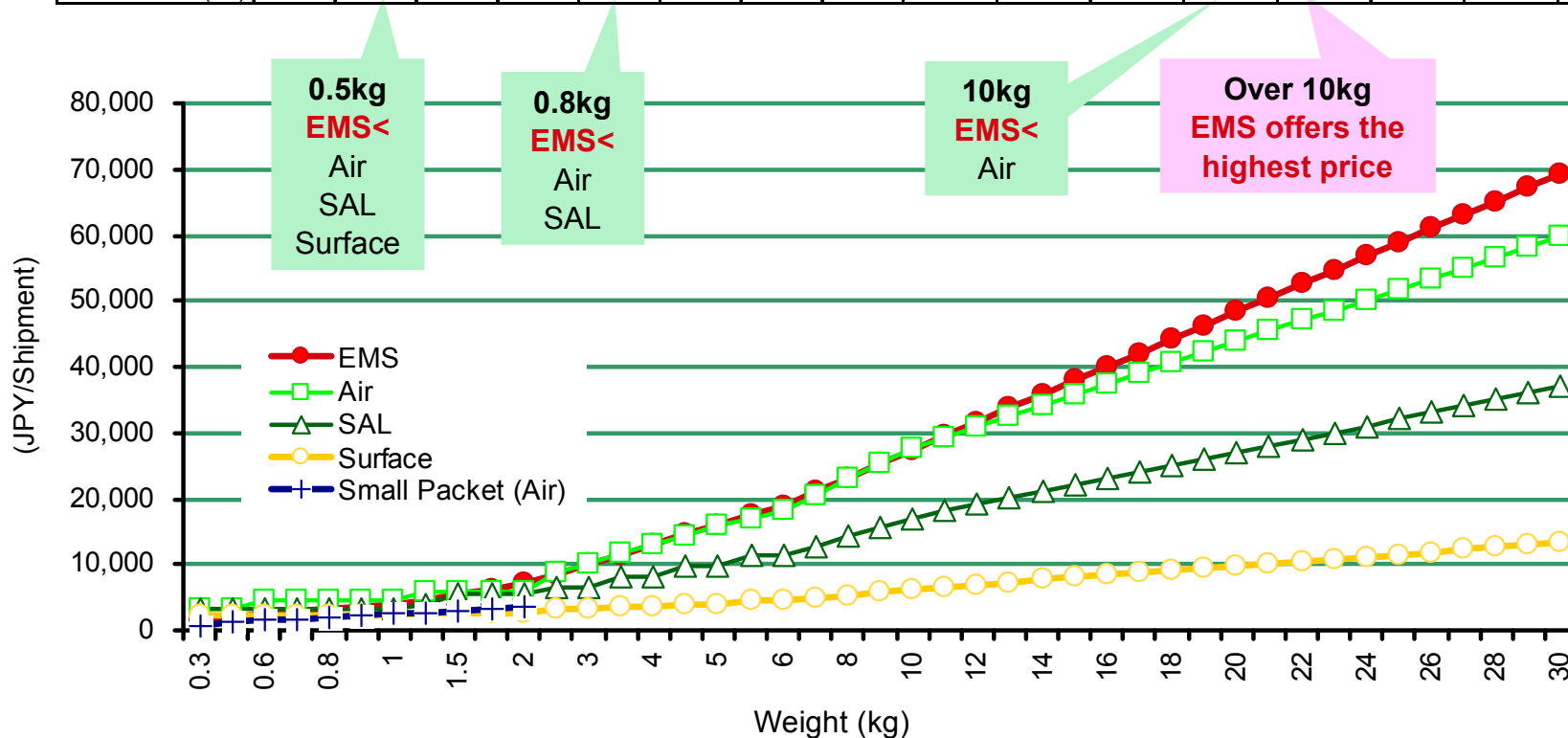
EMSと国際郵便小包の価格比較: アフリカ

For Africa, EMS price is cheaper than Airmail up to 10kg.

Price Index (¥)

 Price higher than EMS

Weight (kg)	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1	2	3	4	5	10	11	15	20	30
EMS	1,700	2,100	2,440	2,780	3,120	3,460	3,800	7,000	10,000	13,000	16,000	27,400	29,500	37,900	48,400	69,400
Air	3,200	3,200	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	6,000	10,200	13,000	15,800	27,800	29,400	35,800	43,800	59,800
SAL	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	5,500	6,600	8,200	9,800	17,050	18,050	22,050	27,050	37,050
Surface	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,650	3,100	3,550	4,000	6,250	6,600	8,000	9,750	13,250
Small Packet (Air)	770	1250	1490	1730	1970	2210	2450	3650								



Source: Japan Post website

ウェブ・ツール： 料金と所要日数 (1/2)

Japan Post provides a website tool to check rate and days of delivery by different modes of transport.

■ Tokyo → Singapore, 2.5kg Parcel

※ Please note that the number of delivery days is an estimate. Depending on the situation of delivery transport, customs clearance, and local handling conditions, the number of days will differ. Please also note that the results will not be shown for some countries or region due to lack of data.

	Rates	Number of delivery days
EMS (Express Mail Service) → Regarding EMS → Traceable	3,500yen	2days
Surface Mail	International parcel 2,500 yen	1 to 2 months
Airmail	International parcel 4,500 yen	4 days
Economy Airmail (SAL)	International parcel 3,600 yen	About 2 weeks

EMS is cheaper than Airmail and SAL with shorter days of delivery

International Mail Service Menu

- [Goods/Services](#)
- [Check rates and delivery days](#)
- [How to Use](#)
- [Inquiry/FAQs](#)
- [Information by countries and regions \(International Mail Conditions List\)](#)
- [Download](#)
- [Information](#)
- [Go to the service list](#)

ウェブ・ツール： 料金と所要日数 (2/2)

■ Kyoto → UK, 1.5kg Parcel

	Rates	Number of delivery days
EMS (Express Mail Service) → Regarding EMS → Traceable	3,700yen <div style="border: 1px solid black; background-color: #008080; color: white; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> EMS is cheaper than Airmail and SAL </div>	2days
Surface Mail	Small package 1,080 yen International parcel 2,350 yen	-
Airmail	Small package 2,310 yen International parcel 4,200 yen	7 days
Economy Airmail (SAL)	Small package 1,580 yen International parcel 3,850 yen	About 2 weeks

■ Osaka → Massachusetts, USA, 30kg Parcel

	Rates	Number of delivery days
EMS (Express Mail Service) → Regarding EMS → Traceable	36,000yen <div style="border: 1px solid black; background-color: #008080; color: white; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> EMS is cheaper than Airmail </div>	3days Details
Surface Mail	International parcel 13,750 yen	Mainland 2 to 3 months
Airmail	International parcel 36,650 yen	San Francisco 10 days Chicago 6 days New York 10 days Los Angeles 6 days
Economy Airmail (SAL)	International parcel 26,550 yen	San Francisco About 2 weeks Chicago About 2 weeks New York About 2 weeks Los Angeles About 2 weeks